

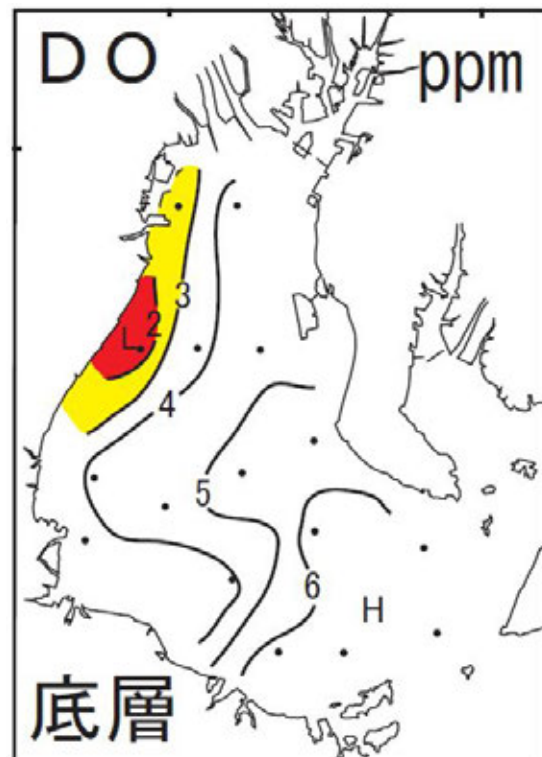
## 伊勢湾貧酸素情報（第 5 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

10月20日の調査では、伊勢湾底層の貧酸素水塊は鈴鹿市沿岸域を除き消滅し、6月から10月上旬まで継続していた貧酸素状態はほぼ解消した。

### 10月20日の調査結果

10月20日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 20.4～21.3，10m で 20.7～22.5，底層で 21.2～22.5 の範囲にあり、平年値に比べ低めとなっていた。塩分は表層で 22.72～32.25，10m で 29.99～32.43，底層で 31.00～33.41 の範囲にあり、表層で平年値に比べ高め、10m と底層で平年並みとなっていた。DO(溶存酸素量)は表層で 6.4～8.5ppm，10m で 4.2～8.3ppm，底層で 1.3～6.6ppm の範囲にあり、表層では平年並み，10m では平年値に比べ高め、底層では鈴鹿市沿岸を除き高めとなっていた。6月から継続していた貧酸素状態は台風 18 号の波浪等によりほぼ解消した。



底層貧酸素水塊分布